

# 血液浄化センター

## 1. 概要

当センターの診療内容は、一般的な透析業務（末期腎不全の透析導入、入院患者の維持透析、急性腎不全の透析）のみではない。血漿交換・免疫吸着等も病態に応じて行っている。最近では、腎不全以外の膠原病・HUS/TTP・ギランバレー症候群・炎症性腸疾患等で、院内の多くの科から血液浄化の依頼が増えている。

当然、少人数の腎臓内科医だけでは業務を遂行できず、移植外科の御支援を頂いている。また、MEや看護師（血液浄化センターのみならず、ICUを始めとする病棟や外来も）等のコメディカルの協力なくしては、当センターの運営が成り立たない事は言うまでもない。

入院透析患者は外来維持透析患者に比し膨大な医療資源を費やすことから、現状では受け入れに限界があることは認めざるを得ないが、基幹病院としてその責務を果たすべくスタッフ一同最善を尽くす所存である。

（センター長 山川 大志）